



先進事例地として阿蘇立野ダムと 川辺川ダム(予定地)を視察しました

九州内に4箇所ある流水型ダムのうち、国土交通省の阿蘇立野ダム(R6完成)と川辺川ダム(建設中)の視察を行いました。

昨年度から予定していた流水型ダムの先進事例地視察を10月30日(金)に実施しました。参加者は活性化推進会議会長の實松市長と副会長の五十嵐佐賀大名誉教授ほか、神崎市幹部職員5名、作業部会員など市民15名、事務局7名の27名でした。また、各ダムに視察の調整をいただいた佐賀河川事務所の方々にも随行していただきました。2か所のダムはともに熊本県内に位置するものの、白川水系、川辺川水系と別々の流域にあり、ダムの効果や周辺の地域振興の取組を説明いただき、大変有意義な視察となりました。参加された皆さま大変お疲れさまでした。

■阿蘇立野ダム(堤高:87m、堤頂長:197m、洪水調節容量:9,500千 m^3 、集水面積:383 km^2)

- ・本ダムの視察では、ダムの持つスケール感を体感することを主眼にしました。また、国立公園内に位置するため、貯水池周辺に道路や法面等を極力配置しない景観に配慮したダムとなっていることを知りました。
- ・ダム建設時から地元南阿蘇村と連携し、地元ダムガイドによるインフラツーリズムなどに力を入れています。



■川辺川ダム(堤高:107m、堤頂長:262m、洪水調節容量:84,000千 m^3 、集水面積:470 km^2)

- ・川辺川ダムは、まだ本体施工に着工していない段階ですが過去の経緯から、水没地の代替施設の建設が先行したダムです。村役場や学校、住宅や道の駅(物産館)や歴史文化交流施設など、今後、城原川ダムでも導入される可能性のある周辺施設整備の事例として視察を行いました。
- ・また、湛水地内に設けられた公園や宿泊施設など河川の占用に工夫されている点でも参考になる事例でした。



阿蘇立野ダムにて



ヒストリアテラス五木(歴史文化交流館)にて

活動内容はWEB
サイトでも配信中

▼神崎市水源地域活性化推進会議(神崎市)

www.city.kanzaki.saga.jp/main/16550.html

▼城原川ダムについて(国土交通省)

https://www.qsr.mlit.go.jp/saga/about/joubarudam/dam_keikaku.html

高取山公園
公式Instagram



推進会議
公式Instagram



発行

神崎市水源地域活性化推進会議事務局

〒842-8601 佐賀県神崎市神崎町鶴3542番地1
TEL: 0952-52-1111(代表) FAX: 0952-52-1120